

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の申請主体の名称

仙南地域広域行政事務組合

## 2. 地域再生計画の名称

えずこ芸術のまち創造事業

## 3. 地域再生の取組を進めようとする期間

地域再生計画の認定の日～平成19年3月31日

## 4. 地域再生計画の意義及び目標

仙南地域は宮城県仙台市の南に位置する広域圏で、仙台まで1時間圏に位置することから、圏域住民の文化芸術にふれる機会、活動の場は、その多くが仙台市を中心とした状況の中にあった。しかし、平成8年に仙南芸術文化センター(えずこホール)がオープン。住民参加型事業をメインに、地域に根ざし、住民が主役となる各種事業を展開し、多くの住民が文化芸術をとおしていきいきと活動するさまざまな芽が育まれてきた。

本計画は、仙南芸術文化センター(えずこホール)を核に、住民創造グループ各団体のスキルアップ、活動を支えるボランティアの育成等により、地域に生きる人々が主体的にさまざまな文化芸術活動を展開。そのことにより、参加者一人一人がいきいきとし、それが波紋のように広がりコミュニティ全体を活性化させ、それをベースに人、物、事が有機的に結びつきさまざまな地域活動を活性化させる、地域内循環型活性化システムの構築を図ることを目的とした計画である。

計画策定に当たっては、仙南二市七町で実施するさまざまな生涯学習プログラム、更にはそれぞれの地域で自主的に展開される住民活動との連携も図り、核となるえずこホールと仙南圏域のさまざまな団体、プログラムが有機的に結びつき、その協力体制のもとに事業を展開する。それが本物の地域発信の文化を育み、ひいては文化のみならず、さまざまな地域活動の活性化へと繋がっていくことを目指すものである。本計画は文化をとおした人づくりの計画であり、更には文化をとおしてさまざまな地域活動を活性化させ、そのことにより地域の再生を図ることを目指す計画でもある。

## 5. 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

えずこホールには、現在約250人の地域の人たちが、毎日のようにホールを訪れ、さまざまな活動に参加している(年間ホールのべ利用者約70,000人のうち住民創造グループのべ利用者数約6,000人)。また、住民による地域貢献としての出前公演・ワークショップ、同じくアーティストによる出前公演・ワークショップを開催し合わせて約1,000人の地域の人たちと文化による交流を図っている。

本計画の実施により、住民創造グループのべ利用者数約9,000人(50%増)、出前公演・ワークショップへの参加者約2,000人(100%増)、更にオープンワークショップの参加者も400人(前年約200人、50%増)と、大幅増を見込んでおり、本計画の展開により文化芸術にふれる住民が格段に増え、圏域内の文化芸術活動の活発化が期待される。

また、住民創造グループの参加者が継続的な活動を展開することにより、周辺の商業をはじめさまざまな経済活動にも少なからぬ影響を及ぼしており、それは、住民参加型の公演・コンサートの際には、数千人の観客を呼び込み(各公演観客総数約3,000人)、周辺地域に一定の経済効果をもたらすものとなっている。本計画の展開により住民活動が更に活発化することにより、経済的社会的効果も一層期待されることである。

## 6. 講じようとする支援措置の番号及び名称

10803 「文化芸術による創造のまち」支援事業の活用

## 7. 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他関連する事業

えずこホールで通年で実施している各種の事業においても、住民創造グループ、地域住民が主体的に参加できる事業を多数開催し、えずこ芸術のまち創造事業と有機的な連携を図る。具体的な事業は下記のとおり。

### 鑑賞事業関連ワークショップ

- ・山崎清介の演劇ワークショップ(一般対象7月)「ハムレット」演劇公演に併せて開催
- ・柳亭燕路による寄席ワークショップ(一般対象9月)「えずこ寄席」に併せて開催
- ・串田和美による演劇ワークショップ(一般対象10・2月)「コーカサスの白墨の輪」演劇公演に併せて開催

### 仙南二市七町で実施するさまざまな生涯学習プログラムとの連携

- ・各種公民館事業との連携、また地域の公民館を会場としてタイアップによる事業展開
- ・まちづくり、子ども会育成事業等、文化事業として連携できる地域団体・活動との協働

## 8. その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

特になし

別紙：支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容、支援を受けようとする者及び支援措置を講じようとする日

## 別 紙

### 1. 支援措置の番号及び名称

10803 「文化芸術による創造のまち」支援事業の活用

### 2. 当該支援措置を受けようとする者

えずこ芸術のまち創造実行委員会

### 3. 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

えずこ芸術のまち創造事業の取り組みの内容は、えずこホールを会場に、自主的な活動を通年で展開する住民創造グループ 10 団体の専門家による指導・育成により、技術的なスキルアップを図ると同時に、人格形成、自己実現を図り文化芸術を通じた豊かな地域づくりを目指す。また、住民創造グループの地域貢献活動として、学校・福祉施設等へのアウトリーチ等を展開し、地域内の施設や団体との交流、連携を図る。また、ホールの各種事業、住民による各種公演活動を支えるホールボランティア、託児ボランティアを育成し、住民が住民の各種公演活動を支える体制を構築する。更に、住民が気軽に芸術文化活動に参加していただける各種オープンワークショップを随時開催し、住民の皆さんが気軽に文化・芸術活動に参加できる体制を整備する。具体的な、事業、活動内容は下記のとおり。

- ・えずこアートプロデュース集団（公演制作集団・年 1 回公演を開催する・参加者 15 人）
- ・えずこシアター（住民劇団・参加者 40 人）
- ・えずこウィンド アンサンブル（吹奏楽団・参加者 45 人）
- ・えずこヴァイオリン アカデミー（こども対象合奏団・参加者 30 人）
- ・えずこギター アンサンブル（ギター合奏集団・参加者 20 人）
- ・えずこ 男声合唱団（合唱集団・参加者 17 人）
- ・ホールボランティア・託児ボランティア（公演運営スタッフ・参加者 40 人）
- ・えずこ裏方倶楽部（舞台スタッフ集団・参加者 13 人）
- ・えずこゴスペル歌い隊（仮称）（ゴスペル集団・設立準備中）
- ・音楽・演劇各種ワークショップ（50～100 人程度・随時募集）